

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		多面的機能支払交付金事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	040104000861
総合計画の施策名		0401 農林業の振興					単独/補助	補助	所属課	050101 農林課
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							課長名	
	施策名	01 農林業の振興							グループ	農林G
	手段名	04 ④農村環境の保全							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成27年度~)	
	01	06	01	05	08	00	多面的機能支払交付金事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	桜川市多面的機能支払交付金交付要項									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域住民が一体となって行う農地・農業用水等の資源や農村環境の保全及び農業用施設の長寿命化などの活動に対する交付金事業 <p>【事業費の内訳】</p> <p>補助金 国50% 県25% 市25%</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導する。 活動内容が年度計画遂行しているか確認する。 各申請書及び実績報告書類の確認。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【担当者が行う業務の手順】 事業が円滑に推進し、交付団体が確実に活動するよう指導する。 活動内容が年度計画遂行しているか確認する。	活動組織	組織	65.00	61.00	61.00	65.00	65.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業の計画申請実績報告・活動組織への交付金支払事務・実施状況報告書の事務確認。現地検査・数量検査。茨城県に報告。	農地維持支払実施面積	ha	1,873.10	1,809.77	1,809.77	18,731.00	18,731.00
	資源向上共同 //	ha	1,830.00	1,768.47	1,768.47	1,830.00	1,830.00
	資源向上長寿命化 //	ha	1,585.90	1,510.47	1,525.47	1,585.90	1,585.90
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
農業者等による活動組織が取り組む、水路の泥上げや地域資源の基礎的保全活動、共同活動を支援し、良好な保全といった地域資源の質的向上を図る。	自然環境を守る行動を行った割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	(地域の美化清掃活動等)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
			国庫支出金	千円	82,973	62,213	82,973		
			県支出金	千円	40,656	31,107	40,656		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	8,816	34,865	31,844		
			事業費計 (A)	千円	132,445	128,185	155,473		
			正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	1,805		01 報酬	2,007		
	03 職員手当等	665		03 職員手当等	735		
	08 旅費	19		08 旅費	20		
	11 役員費	935		11 役員費	123		
	18 負担金補助及び交付金	124,426		18 負担金補助及び交付金	152,588		
	22 償還金利息及び割引料	335					
			合計	128,185		合計	155,473

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導。 活動内容が年度計画遂行しているか確認。 各申請書及び実績報告書類の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導。 活動内容が年度計画遂行しているか確認。 各申請書及び実績報告書類の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導。 活動内容が年度計画遂行しているか確認。 各申請書及び実績報告書類の確認。

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	事務事業No.	40104000861	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農地の環境保全と地域の活性化のために、平成19年度より農地・水保全管理支払交付金事業が開始され、現在、多面的機能支払交付金事業に移行し、農地や農道等の維持管理や水路の補修等に交付金を利活用している状況である。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 交付金を活用するために、活動記録や出納簿等の作成、また施設の修繕のための工事契約等事務負担が大きい、また、今後の当該事業の事務を担ってもらう人材が、いないという声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・農地の保全や農業経営の安定化が図られる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・環境保全向上対策事業については公共性が高い。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・現状維持。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・耕作放棄地の増加と農業施設の管理ができなくなり、農業経営への影響と各種事業が効果的に実施できない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため、統廃合できない
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・事業実施団体は地区内の組織であり、会計年度任用職員の報酬を交付金で充当している。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・市内における農業施設を保持している地区対象であるため公平性を保っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・令和6年度より組織数が61組織になり、また各組織内での役員の交代等により事業に関する問い合わせへの対応が増えているが、県に確認を行い、適切な方法等について周知・指導を行った。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--